

事務事業名		児童乳幼児ふれあい交流促進事業			☐ 実施計画登載事業		☐ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	0:6:豊かな心を育む人づくりの推進			事業期間		予算科目				
	施策名	2:7:義務教育の充実					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0:4:心豊かでたくましく生きる人間の形成									
根拠法令					☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 H16 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入		01 10 02 02 08				
所属	部課名	教育委員会学校教育課					H16年度、17年度は予算なし				
	係名	学務係	電話	0192-27-3111							
		内線	288								
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 赤ちゃんふれあい体験学習、3か月乳児見学を通じて、命の尊さ、自他の尊重を身につける。 主な業務は、事業実施打合せ会日程調整、開催通知、打合せ会当日の運営、議事録の作成、各小学校へ事業参加有無の照会、参加希望小学校へ実施希望時期の照会、事業実施当日の補助、事業委託契約の締結、参加児童送迎バス見積依頼、参加送迎バス運行契約書の作成及び締結、送迎バス代の支払い。 事業費は、気仙医師会への委託料、出張助産師の会「母子サポート」への謝金、参加児童送迎バス代、消毒液購入代である。 なお、22年度より県立大船渡病院での新生児室見学を、感染症予防の観点から廃止した。					全体計画(期間限定複数年度のみ)						
					総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金				
							都道府県支出金				
							地方債				
							その他				
							一般財源				
						事業費計(A)			0		
						正規職員従事人数					
						延べ業務時間					
						人件費計(B)			0		
						トータルコスト(A)+(B)			0		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)
前年度実績(前年度に行った主な活動)
事業実施打合せ会日程調整、開催通知、打合せ会当日の運営、議事録の作成、各小学校へ事業参加有無の照会、参加希望小学校へ実施希望時期の照会、事業実施当日の補助ほか
今年度計画(今年度に計画している主な活動)
事業実施打合せ会日程調整、開催通知、打合せ会当日の運営、議事録の作成、各小学校へ事業参加有無の照会、参加希望小学校へ実施希望時期の照会、事業実施当日の補助ほか
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等
各市立小学校5学年及び6学年児童
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)
命の尊さ、自他の尊重、家族の意義などを感じることができる。
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)
健康でたくましく成長できる。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称

単位

ア

市立小学校数

校

イ

ウ

対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称

単位

カ

市立小学校5学年及び6学年児童数

人

キ

ク

成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称

単位

サ

事業参加した市立小学校5学年及び6学年児童の割合

%

シ

ス

(2) 総事業費・指標等の推移

		年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	
		単位							
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円		212	319	285	99	111
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		318	160	144	50	151
		事業費計(A)	千円	0	530	479	429	149	262
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	80	100	100	100	100	100
		人件費計(B)	千円	320	400	400	400	400	400
		トータルコスト(A)+(B)		千円	320	930	879	829	549
活動指標		ア	校	14	14	14	14	14	14
	イ								
	ウ								
	対象指標	カ	人	904	914	863	815	780	776
		キ							
		ク							
成果指標	サ	%	37.1	42.1	53.7	53.6	24.9	46.6	
	シ								
	ス								

事務事業ID	1221	事務事業名	児童乳幼児ふれあい交流促進事業
--------	------	-------	-----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？

平成16年度に気仙医師会学校医部会において、「赤ちゃんふれあい体験学習」の実施を計画、市教委へ事業実施要請があり、事業実施の運びとなった。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？

年々、医療現場が多忙となっており、実施日程の調整等が困難となっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

参加した児童から「とても可愛かった。小さくても頑張っている姿に感動しました。」等の感想が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] 事業実施により、命の尊さや自他の尊重などを参加児童が感じることができる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] 授業の一環として事業実施しているものであり、義務教育充実を図るうえでも、行政が主体となって事業運営していく必要がある。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] 事業内容(授業内容)について関係機関と協議しているため、その内容を考慮すると対象についても、意図についても限定追加する必要はない。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] 事業実施場所を各小学校内としたことにより、小学校の負担が軽くなり、事業参加児童割合が増えた。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] 「児童の健全な成長」に支障をきたす。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] 事業実施内容については、他に手段がない。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 必要最低限の事業費で実施している。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] 必要最低限の人員で実施している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] 全小学校に事業実施希望を調査した後に、事業実施していること、授業の一環として実施していることから、公平・公正であり、受益者負担についても同様である。

事務事業ID	1221	事務事業名	児童乳幼児ふれあい交流促進事業
--------	------	-------	-----------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 各種団体(気仙医師会、出張助産師の会「母子サポート」と連携を密に図り、遅滞なく事業実施することができた。																					
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 各小学校において、赤ちゃん人形抱っこ体験、新生児室の様子ビデオ鑑賞等を実施するスタイルにしたため、児童が移動せずに事業実施が可能となった。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 実際の乳児を見学することが出来なくなるため、事業効果が減退する。																							

(職 名) 原則として施策の主管課長

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	学校教育課長
-------	--------

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																							
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 新生児の見学ができなくなることから、赤ちゃんふれあい体験学習の内容について検討していく必要がある。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☐ 適切</td><td>☒ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>	目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
有効性	☐ 適切	☒ 見直し余地あり																					
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																					
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☐ 現状維持 事業のやり方改善 (☒ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 新生児室の見学がなくなることから、内容を再検討し、学校を会場に実施し多くの学校が参加しやすいよう改善を図る。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項
